

平成23年第4回黒部市議会6月定例会  
一般質問（代表・個人）通告要旨

■一般質問（代表）

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
1	会派清流 川 上 浩	<p><b>1 大震災を契機とした防災対策の見直しについて</b></p> <p>(1)被災地を訪問され、大災害を目の当たりにした感想は。また地震、津波が日本経済に大きな影響を及ぼしたことや、原子力発電所の事故による放射能問題が、地域住民をはじめ、日本全体に大きな影響を及ぼしていることについて、どのように思うか</p> <p>(2)今回の地震・津波発生時の黒部市における危機管理体制がどのように機能したのか。情報収集や初動体制に問題はなかったかをどのように検証され、今後の課題とされたか</p> <p>(3)市民は大地震の発生により、災害発生への危機感が増している。今後黒部市ではどのような災害の発生が予想されるのか。また、それらの被災時のシミュレーションやそのための危機管理体制をどのように整えているのか</p> <p>(4)災害に対する市内企業の防災対策はどのようになっているのか。予想される危険性などの協議はされているのか。また災害時の連携についてはどのようになっているのか</p> <p>(5)想定される災害にライフラインの対策は十分取られているのか。上下水道の管路や施設などの耐震対応や非常電源（自家発電）の確保はどのようになっているのか</p> <p>(6)被災時を想定した孤立集落対策、防災公園や避難場所などについて、耐震性やその位置の浸水マップ、ゆれやすさマップ、土砂災害危険箇所などとの関係を検証しているのか</p> <p>(7)災害時備蓄品としてどのようなものを備蓄し、その管理はどのようになっているのか。今回の大震災で”名</p>	市 長

		<p>水の里”として被災地に提供する水の手当てがつかなかったことが大変残念であった。備蓄用としての”黒部の名水”の確保が必要ではないか</p>	
		<p><b>2 新エネルギービジョンへの取り組み状況について</b></p> <p>(1) 新エネルギービジョンに沿った取り組み状況と、今後の自然エネルギー利用についてどのように取り組んでいくのか</p> <p>(2) 宮野用水発電所は平成24年4月稼働を目指して建設が進んでいるが、今後の小水力発電への取り組み計画とその際課題となる点は何か</p>	市長
2	日本共産党 谷口弘義	<p><b>1 安全安心のまちづくり・住民が安心してくらせる災害対策を</b></p> <p>(1) 国の地震対策は、東海地方に偏っていないか。その他の地域での研究や対策は、全く遅れていると言わざるを得ない。今回の東北地方太平洋沖地震でもそうだったと思わないか。黒部市の住民の安全を守るためにも北陸地方、富山湾での地震と津波の研究を強化するよう国に求めていくべきと思うが、どうか</p> <p>(2) マグニチュード7.4の直下型地震が富山湾でとなれば、津波の対策も必要となる。津波対策、住民の避難をどのように考えているか</p> <p>(3) 市内の海岸沿いに「地震・津波・高波に注意」の看板が設置されている。「地震を感じたら、高いところへすぐ避難」と書いてあるが、避難場所がわからない。住民や、誰もが避難場所や経路、住んでいる地域の標高等を電柱等に表示し、わかりやすくする必要があると思うがどうか</p> <p>(4) 今度の地震で住民のみなさんから「黒部ダムは大丈夫か。黒部ダムから黒部市街地まで何時間で水が到達するのか。どこに逃げたらいいのか」と不安が寄せられた。住民の不安に対しての考えを聞きたい。黒部ダムの安全性を検証し、ダム災害による洪水のハザードマップも必要と思う</p>	市長

	<p>かどうか</p> <p>(5)地震による津波や液状化現象等を考えれば、災害時の備蓄場所の見直しが必要と思うがどうか</p> <p>(6)市内の公共施設で耐震診断がされていない施設は何カ所あるか。そのうち避難場所に指定されている施設の耐震診断、耐震補強を、いつまでに終える計画か。学校の耐震化を急がなければならない。耐震診断の必要な学校・施設は何カ所か。いつまで耐震診断を実施し、耐震補強を終える計画か</p>	
	<p><b>2 公共交通について</b></p> <p>(1)北陸新幹線について、新潟県、富山県、石川県の各第3セクターが独自に運行すれば乗り換えの不便さや初乗り運賃の増加など、住民の利便性が損なわれることになる。各県が話し合い一体的な運行などが必要と考えるがどうか</p> <p>(2)利用者の負担増を避け、関係自治体の過度な財政負担を避けるためにも、富山ライトレールの例のように、JRの鉄道設備の実質無償譲渡を求めることが必要と考えるがどうか</p> <p>(3)市内を走ることになる新幹線、地鉄、並行在来線の3つの鉄道と、コミュニティ交通の有効的活用を図らなければならない。地鉄線と並行在来線を結線し、相互乗り入れを強く求めていくことが必要と思うがどうか</p> <p>(4)5月19日、滑川以東の5市町の住民要望を伝えるために、知事政策局長を訪ねた。黒部市の議長も参加された。市長は議会の意見、住民の要望を県並行在来線対策協議会に反映させるために、努力する考えはあるか</p> <p>(5)コミュニティタクシーの本格運行が7月1日から宇奈月地区で実施されることになった。コミュニティ交通の運行を望んでいる地域が市内で多くある。交通空白地域の解消を急がなければならないと思うがどうか</p>	<p>市 長</p>

		<p>(6) コミュニティタクシーと地鉄電車を効果的に結びつけるには、割高感のある電車の運賃を安くして一体的運用をするなど、利用しやすくすることが必要だと思うがどうか</p> <p>(7) 地鉄の路線バスを利用した実験運行が生地地区で行われる。実験運行として行うのなら、コミュニティタクシーと同じ料金設定で行うことを考えてはどうか</p>	
		<p><b>3 子育て支援について</b></p> <p>(1) 学童保育は各運営委員会任せになっていないか。黒部市が行政として責任を持って、児童福祉法や厚生労働省の学童保育の運営規定の趣旨に添った運営に当たるべきと考えるがどうか</p> <p>(2) 中央小学校の学童保育は、指導員の確保で関係者が大変な苦勞をしている。指導員不足等で申込者86人のうち1年生から3年生までで25人が受け入れられなかったと聞いている。指導員の確保等に市が責任を持って当たる必要があると思うが、どうか</p> <p>(3) 旧生地幼稚園の園舎・施設が有効利用されているように見えない。新たに施設を建設しなくても児童センターとしての有効利用など考えられないか。地元とどのような話し合いがなされたのか。自治振興会の要望にどのように答えられたのか</p> <p>(4) 去年の夏は大変な猛暑で本市は補正予算を組んで保育所、11箇所エアコンを設置し、3歳児までの保育室の設置は完了した。今年度4・5歳児の保育室のエアコンを設置の考えはどうか</p>	市長
3	新樹会 辻 靖 雄	<p><b>1 まちづくりの手引書・総合振興計画の推進について</b></p> <p>(1) 最初の実施計画3年間の総括について</p> <p>(2) 人材育成の砦、桜井中学校の建設促進について</p>	市長

		(3) 次の実施計画 3 年間の優先政策について	
		<b>2 防災対策について</b> (1) 東日本大震災の発生で得られた教訓について (2) 黒部ダムが決壊した場合の避難のシミュレーションについて (3) 被災者支援システムの導入について (4) 子どもたちの防災教育について	市 長 副 市 長 総務企画部長 教 育 長
		<b>3 国際観光戦略について</b> (1) 黒部・宇奈月温泉観光局の設立の意義と展望について (2) 観光トップセールス事業について、なぜ今、大連・北京訪問なのか。その目的と成果について	市 長
		<b>4 待望の地域コミュニティ交通の充実・促進について</b> (1) 今後のコミュニティ交通促進の意義と課題について (2) コミュニティタクシー・デマンドタクシーの実証運行について (3) 生地・三日市間、新ルートコミュニティバス運行について (4) 低床ノンステップバスの導入の具体的な計画について	市 長 都市建設部長 都市建設部長 都市建設部長
4	会派くろべ 小柳 勇 人	<b>1 災害に強いまちづくりについて</b> (1) 今回の大震災が黒部市に及ぼす影響を伺う。未曾有の大震災は、防災強化、放射能問題、節電、サプライチェーン、経済問題など本市に及ぼした影響について市長の所見を伺う (2) 黒部市地域防災計画を大震災の教訓から修正することが必要だと考えるが、今後の見直し修正計画について伺う (3) 黒部市地域防災計画の避難体制について伺う。災害時や災害予想時の一時避難所の整備状況について伺う ①本市において、避難又は一時避難が必要とされる災害には、どのような災害が想定されているか ②想定される災害に対応できる避難所に求められる条件とは ③現在の市内の避難所の整備状況について伺う	市 長 市 長 都市建設部長

		<p><b>2 黒部市保有財産、土地・施設の利活用について</b></p> <p>(1)黒部市保有の現在遊休地となっている土地・建物の今後の利活用方法について伺う</p> <p>(2)土地開発公社の清算に伴い、公社所有の財産を市が所有することになる。今回所有する土地の今後の利活用方法について伺う</p> <p>(3)現在、老朽化している施設も多く、また機能が重複している施設も多い。現施設に修繕が必要なこともあり、今後は、統合廃止を含めできるだけ早期に利活用方法を検討する必要があると考えるが、当局の考え方を伺う</p>	市長
		<p><b>3 子育て環境の充実について</b></p> <p>(1)市内保育所の延長保育など時間外保育の状況について伺う</p> <p>(2)核家族の増加に伴い育児相談のニーズも増加している。子育て支援センターの拡充や、相談しやすい環境づくりも今後のテーマかと考えるが市長の所見を伺う</p> <p>(3)「とやま県民家庭の日」への本市の取り組みについて伺う</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

## ■一般質問（個人）

質問順	質問議員	質問事項	答弁者
1	川本敏和	<p><b>1 危機事象発生における対応と見直しについて</b></p> <p>(1)危機の発生時に市民並びに近隣自治体に知らせることが重要と思われるが、その手段は</p> <p>(2)黒部市地域防災計画の津波並びに高波発生時の避難場所を見直すべきでは</p> <p>(3)一人暮らしや福祉施設、支援学校、病院等の自力で避難出来ない方々への対応は</p>	<p>市長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p>

		<p>(4)石川県に志賀原発があるが、黒部市までの距離は約 60 キロである。放射性物質のモニタリングデータを市民に知らせる必要があるのでは</p> <p>(5)中心市街地における水防計画並びに雨水対策についてどう考えているか</p>	市 長
		<p><b>2 環境にやさしく、循環型社会を目指すまちづくりについて</b></p> <p>(1)海岸、河川等にごみや家電等の不法投棄が多いように感じるが、どう考えているのか</p> <p>(2)資源ごみの分別を細部に見直す必要があるのでは。また現状の資源回収量はどうか</p> <p>(3)ごみに関する 4 R、リフューズ（やめる）、リデュース（減らす）、リユース（再使用）、リサイクル（再利用）があるが学校教育での現状はどうか</p> <p>(4)稼働し始めたバイオマス事業の現状はどうか</p> <p>(5)生ごみ等の有機性廃棄物からのエネルギー（生ごみメタン）の事業を推進してはどうか</p>	市 長 市民生活部長 教 育 長 上下水道部長 市 長
2	山 田 丈 二	<p><b>1 防災対策（津波）について</b></p> <p>(1)市内の小中学校・保育所等の危機管理マニュアルの見直しについて</p> <p>(2)危機管理システム(光ファイバー網)の拡充による津波対策の活用について</p> <p>(3)黒部市地域防災計画の見直しについて</p>	教 育 長 市 長 総務企画部長
		<p><b>2 環境にやさしいバイオマスタウン構想の推進について</b></p> <p>(1)下水道バイオマスエネルギー利活用施設について</p> <p>(2)バイオ燃料について</p>	上下水道部長 市民生活部長
3	中 村 裕 一	<p><b>1 黒部市の防災体制について</b></p> <p>(1)黒部市は自主防災組織率 100%、組織数は 104 となっているが果たして市民に、この防災意識が浸透しているのか</p> <p>(2)水害、火災、地震、津波等の災害を想定した避難訓練が必要と思われる</p>	市 長 市 長

		<p>が、取り組みのガイドライン等望まれるがいかがか</p> <p>(3) 現在、災害を知らせる防災行政無線が市内42ヶ所に設置されているが、各戸に聞こえているのか調査してみてはどうか</p> <p>(4) 住宅用火災警報器の設置は義務付けられているが、現在の設置の状況はどうか</p> <p>(5) 今後新市庁舎を含めた建物の建設にあたりその機能を保持するためには、免震対応が必要ではないか</p>	<p>総務企画部長</p> <p>消 防 長</p> <p>市 長</p>
		<p><b>2 黒部市の節電の取り組みについて</b></p> <p>(1) 黒部市の節電についてどのように取り組んでいるのか</p> <p>(2) 市民に節電の意識を啓発する必要があるのではないか</p>	<p>市 長</p>
4	寺 田 仁 嗣	<p><b>1 宮野運動公園（上部）の活性化について</b></p> <p>(1) 北側展望台より下部への北斜面側の整備について</p> <p>(2) 2 既存施設の利活用について（伝習館・宮野ハイツ）</p> <p>(3) みやの橋のあり方について</p> <p>(4) 保育園児及び幼稚園児等の更なる利用度アップとイベント開催について</p>	<p>市 長</p>
		<p><b>2 食文化の構築について</b></p> <p>(1) 黒部市の食料自給率とその目標について</p> <p>(2) うなづき食菜館の実態と魚の駅における「できたて館」の現状と取り組みについて</p> <p>(3) 食生活改善の更なる推進に向けての取り組みについて</p> <p>(4) 黒部ブランドとなりうる伝統料理等についてと、くろべ餃子まつりをどのように考えられているのか</p> <p>(5) 本市の食育計画は実施されているのか。されているとすればどのような計画か</p>	<p>市 長</p>
		<p><b>3 愛本刎橋復元に向けての取り組みについて</b></p> <p>(1) 庁内検討委員会の活動実績について</p> <p>(2) 今後の活動計画等について（調査・研究・情報）</p>	<p>副 市 長</p>

5	伊 東 景 治	<p><b>1 市民に愛され親しまれる観光資源の利活用について</b></p> <p>(1)大原台自然公園一帯を滞在型観光のスポットや、スポーツエリア、家族レクリエーションのコースとして活性化を考えられないか。そのために周辺整備の見直しを行ってはどうか</p> <p>(2)峡谷鉄道駅の近くから大原台頂上までの高低差330m、傾斜長850mをゴンドラリフトでつなぎ、スキーセンター付近に中間停留場をつくれば、通年でスキー場を含む大原台一帯を活用でき、誘客につながると思うがどうか</p> <p>(3)僧ヶ岳県立自然公園（仮称）が「富山県環境審議会」で諮問され、「自然環境専門部会」で審議調査検討されているが、その内容と認定時期はいつごろになるのか</p> <p>(4)県の指定を受けた後の僧ヶ岳県立自然公園への取り組みとして本年度より商工観光課に山岳公園係を設置されたと考えるが、具体的な施策はあるのか</p> <p>(5)富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏事業として、2泊3日の滞在型観光として僧ヶ岳トレッキングを含めたコースを検討してみてもどうか</p>	市 長
		<p><b>2 富山スタンダードによる教育について</b></p> <p>(1)中止となった全国学力・学習状況調査について、本年度はどのように対応するのか</p> <p>(2)とやま科学オリンピックプレ大会の参加者520人のうち、黒部市から何人参加したのか。また、今回の結果と、本格実施に対して本市はどのように対応するのか</p> <p>(3)とやま型学力向上支援事業として、今年度は桜井中学校、三日市小学校、教育センターに予算が充てられているが、これまでの実践結果はどのように活かされているのか、また有効性は見られるのか</p>	教 育 長

		<p>(4)新しい小学校学習指導要領の完全実施への教育環境の整備、教育現場の対応は十分か</p> <p>(5)黒部市における教職員の休職状況はどのようになっているのか。勤務時間の管理や事務処理などの見直しなど、教育委員会として早めの対応が必要ではないか</p>	
6	橋本文一	<p><b>1 県東部の消防広域化について</b></p> <p>(1)県東部の消防広域化研究会の報告書には「富山市を除く県東部 8 市町村の実務担当者からなる、県東部消防広域化研究会により、広域化の効果と課題について調査研究を行いまとめたものである」と書かれている。この研究会は、8 市町村での広域化の研究をしてきたものだ。市長は、かねてから「2 市 2 町で話し合うべき」と言っているが、初めから参加を断るべきであったのではないか。研究会で「2 市 2 町」のことをはっきり言うように、消防長に指示すべきだったのではないか</p> <p>(2)市長は「2 市 2 町がベストである」と述べているが、これまでどのような取り組みをしてきたのか。また、今後どう取り組むのか</p> <p>(3)任意協議会設立の前日の 7 月 15 日に、魚津市へ行き、事務局に任意運営協議会へ不参加の意向を伝えたと報道されている。5 月の市全員協議会では、この 7 月 15 日に、消防長と総務課長が県の金島消防課長を訪ね、「10 万人未満でも県の推進計画を変更すれば可能」との説明を受けたとの報告があった。県の消防課長を訪ねた意図は何だったのか。市長はどのような指示を出したのか</p>	市長
		<p><b>2 土地開発公社の解散について</b></p> <p>(1)黒部市土地開発公社を設立した目的は</p> <p>(2)土地の先行取得により、予定していた各種公共事業が終了したのか</p> <p>(3)公社の保有資産（22 億 6 千 5 百万円）と時価評価額が（15 億 6 千 百万円）</p>	市長

		<p>円) で約 7 億 4 百万円の債務超過である。</p> <p>土地開発公社の解散に伴い市が回収不能となる金額はいくらなのか</p> <p>(4)今回第三セクター改革推進債(17億円)を利用することだが新たな借り入れなのではないか</p> <p>(5)土地は黒部市のものとなるが、今後どの様に活用していくのか。市民からは所有地を表示すべきとの声があるがどうか。今後も管理費等が必要となる。管理費はいくらなのか</p> <p>(6)多くの事業計画は現実味のない過大な事業計画等が破綻し、市民に大きな損失を与えた。これを進めてきた土地開発公社の役員の責任は重大である。この事をどうかんがえるか、市長はどのように責任をとっていくのか</p>	
		<p><b>3 基幹産業の農業について</b></p> <p>(1)東日本大震災のため東北地方の一部でコメの作付が出来なくなり、国は4月、各都道府県にコメの作付受け入れの打診をした。富山県は受けなかったが、稲作農家では受けるべきだとの声があった。県は、なぜ受け入れなかったのか。黒部への相談があったのか</p> <p>(2)その後、5月31日の新聞に県が「被災地のコメ、一転生産」との報道があり、数量目標600トンの受け入れとなった。しかし黒部市は受け入れなかった。4月時点、また、5月末時点においても、農家からは「なぜ受け入れないのか」、「農家のことをほんとうに考えているのか」との声があがっているが、どのように考えているのか</p>	産業経済部長
7	村井洋子	<p><b>1 高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて</b></p> <p>(1)現在、当市は65歳以上の一人暮らし世帯が約1,340世帯あり、その内140世帯に緊急通報装置が設置されている。これはどのような経緯で設置されたものか</p>	市民生活部長

		<p>(2)緊急通報装置の設置基準はあるのか。また市民に周知されているのか</p> <p>(3)設置後の経過における効果・有効性についてどう評価するか</p> <p>(4)65歳以上の二人暮らし世帯は約1,280世帯あるが、特に高齢な二人暮らし世帯においても、今後、緊急通報装置の設置を進めていく考えはあるか</p>	<p>市民生活部長</p> <p>市民生活部長</p> <p>市長</p>
8	松原 勇	<p><b>1 防災計画の見直しについて</b></p> <p>(1)現在の避難場所の再検証など、見直しの対応策は</p> <p>(2)避難場所に「ここは海拔（標高）〇〇m」という表示板を設置してはどうか</p> <p>(3)一昨年の高波被害の教訓を生かし、災害時に市民に通報する防災無線と、全世帯への防災ラジオの設置の必要性は</p> <p>(4)津波ハザードマップの作成配布の必要性は</p> <p>(5)軟弱地盤の液状化現象に対する対応策は</p> <p>(6)防災訓練の重要性、防災教育の意義深さなどを各地区自治振興会、町内会、各種団体等において周知徹底すべきではないか</p>	<p>市長</p>
		<p><b>2 まち歩き観光支援について</b></p> <p>(1)まち歩き観光の支援策は</p> <p>(2)漁業資料館の生涯学習施設と観光交流施設の支援策は</p>	<p>市長</p>